

平成 17 年度 第 4 回常任委員会 議事録 (案)

日時：平成 17 年 11 月 7 日 (月) 14:00 から 17:00

場所：土木学会講堂

出席者：丸山委員長、石橋、上田、魚本、宇治、梅原、岡澤 (代理：植田)、金津、坂井、堺、佐藤(勉)、佐藤(良)、島、武若、堤、手塚、信田、橋本、福手、前川、松岡、宮川、睦好、渡辺、横田幹事長、下村・服部・三島の各幹事

配付資料

- 4-0 平成 17 年度 コンクリート委員会 第 4 回常任委員会 議事次第
- 4-1 平成 17 年度 第 1 回コンクリート委員会・第 3 回常任委員会 議事録 (案)
- 4-2 示方書連絡調整小委員会 (第 2 期) について
- 4-3 Memorandum of Understanding between KSCE and JSCE
- 4-4 ローマコンクリート調査小委員会委員名簿
- 4-5 平成 17 年度コンクリート委員会一般会計会計状況 (10/31 現在)
- 4-6 平成 18 年度事業計画および予算要求調書
- 4-7 土木学会 - ベトナム土木学会連合ジョイントセミナー及びワークショップ
- 4-8 コンクリート標準示方書改訂小委員会活動状況について
- 4-9-1 328 コンクリート構造物のヘルスマonitoring研究小委員会委員名簿
- 4-9-2 332 コンクリート - 地盤境界問題小委員会委員名簿
- 4-9-3 構造物表面のコンクリート品質と耐久性検証システム研究小委員会委員名簿
- 4-10 First Announcement and Call for Papers, EASEC-10

議事：

1. 委員長挨拶

丸山委員長より、委員会開始にあたっての挨拶があった。

2. 前回議事録の確認 (平成 17 年度第 3 回常任委員会)

資料 4-1 の平成 17 年度第 3 回常任委員会議事録 (案) が承認された (ただし、2 カ所の誤字修正)。

3. 審議事項

(1) 示方書連絡調整小委員会 (第 2 期) 活動計画・委員構成

下村幹事から、資料 4-2 に基づき、示方書連絡調整小委員会の活動方針について説明がなされた。これに対して、委員会名称が活動内容を反映したものになっていない、具体的な成果を期待すべきか、メンバー構成はどのようにすべきかなどについて、さまざまな意見が出された。次世代を担う人材が示方書の将来構想について自由に議論できるような場にするという方針は確認されたが、委員会名称を含めて詳細については下村幹事にさらに検討をお願いすることとなった。

(2) KSCE コンクリート委員会との協定

横田幹事長から、資料 4-3 に基づき、KSCE コンクリート委員会との協定に関する経緯説明がなされた。これに対して、タイトルは JSCE と KSCE との取り決めとなっているが、中身はコンクリート委員会どうしの取り決めが記載されているので、内容とタイトルの整合性をとる必要があるとの指摘がなされた。これに関連して、会長同士のサインは不要であり、コンクリート委員長どうしのサインで対応する方針が確認された。丸山委員長より、協定を結ぶこと自体は特に問題ないと思われるので、JCI、KCI の動きを見ながら、来年の土木学会でのセミナー開催を目標に話を進めていきたい旨の説明があり、了承された。ただし、具体的な取り決め等については、今後さらに議論することとなった。

(3) 1 種・2 種小委員会委員追加・変更

丸山委員長より、ローマコンクリート調査小委員会に顧問として 2 名の先生に加わっていただく旨の説明があり、了承された。

(4) その他

特になし

4. 報告事項

(1) 平成 17 年度収入・支出状況

横田幹事長より、資料 4-5 に基づき 10/31 現在のコンクリート委員会一般会計状況について説明がなされた。

(2) 平成 18 年度事業計画・予算要求

横田幹事長より、資料 4-5 に基づき来年度のコンクリート委員会事業計画及び予算要求についての説明がなされた。来年度予算シーリングについての質問に対して、現時点では 2 %程度と考えている旨の回答がなされた。また、ISO 対応特別委員会からの助成申請結果について、予定通り申請を行った旨の追加説明が、服部幹事よりなされた。

(3) KSCE-JSCE ジョイントセミナー報告

下村幹事より、2005 年 10 月 21 日、22 日に開催された KSCE-JSCE ジョイントセミナーにコンクリート委員会の代表として参加し、歓待を受けるとともに、成功裏に終了した旨の報告がなされた。

(4) ベトナムジョイントセミナー及びワークショップについて

堺委員より、資料 4-7 に基づき、土木学会 - ベトナム土木工学ジョイントセミナー及びワークショップが 2005 年 12 月 8 日、9 日に開催され、日本側は 6 名程度が出席予定である旨の説明がなされた。丸山委員長も参加予定であり、継続的な連携を目指したいとの追加説明がなされた。

(5) 示方書改訂小委員会活動状況について

信田委員より、資料 4-8 に基づき、主査幹事会、設計部会、施工部会、維持管理部会、ダム部会、規準部会に分かれて、2007 年 7 月の脱稿を目指して活動中である旨の説明がなされた。なお、ダム編については、現在、メンバー選定中である旨の追加説明がなされた。堺委員より、環境に対する配慮をどのように

扱うのかとの質問がなされ、設計編の全体を説明する章に含める予定であるとの回答がなされた。梅原委員から、トンネルコンクリート編は必要かどうかとの質問がなされ、魚本委員より覆工コンクリートは特殊なコンクリートではないと考えているが、トンネルコンクリート編の必要性については、示方書改訂小委員会で協議したいとの回答がなされた。なお、舗装委員会で準備中の舗装標準示方書の進捗状況について、佐藤（良）委員より報告があった。

（６）示方書英訳版[施工編]作業状況

武若委員より、施工編の英訳版は10月10日に脱稿し、11月末には出版される見通しである旨の報告がなされた。これに関連して、指針類の英訳版はインターネットで購入可能かどうかの質問がなされ、現時点では購入不可であるが、出版事業課で作業中であり、近日中に対応される旨の回答がなされた。

（７）３種小委員会の委員の追加・交代

服部幹事より、資料4-9-1,4-9-2,4-9-3に基づき、コンクリート構造物のヘルスマニタリング研究小委員会（328）、コンクリート-地盤境界問題研究小委員会（332）、構造物表面のコンクリート品質と耐久性能検証システム研究小委員会（335）の委員交代、追加に関する説明がなされた。

（８）講習会等開催報告および３種小委員会終了報告

服部幹事より、以下の３件の講習会開催報告がなされた。

- ・コンクリート構造物の非線形解析技術と耐震設計に関する講習会（2005年9月20日東京）
- ・アルカリ骨材反応対策小委員会報告書に関する講習会（2005年9月29日東京）
- ・コンクリート構造物の環境側面に関する講習会（2005年11月1日東京）

また、坂井委員より、日本学術会議材料連合会(2005年9月15日,16日)の開催報告がなされた。その他、環境側面の講習会（11月1日）、設計例・吹付けコンクリートの講習会(9月27日中国支部)などについても、開催報告がなされた。

（９）各種講習会の開催案内

・前川委員より、資料4-10に基づき第10回EASECの開催案内がなされた。
・睦好委員より、グラウト設計・施工指針（PC技術協会）が刊行され、12月8日（東京）1月17日（大阪）に講習会が開催予定である旨の報告がなされた。
・その他、吹き付けコンクリート講習会（11月9日、関西支部）、設計例講習会（11月25日、北海道支部）などについても開催案内がなされた。

（10）その他

坂井委員より、ローマ古代コンクリートに関連して1000年以上海中に浸かった状態の海中コンクリート（パイヤ）の人頭大サンプルが入手できた旨の報告がなされた。

5. その他

特になし

6．次回開催

次回、第5回コンクリート常任委員会は2005年12月15日（木）14:00～17:00に土木学会において開催する（角田顧問からの講話を予定）。

以上